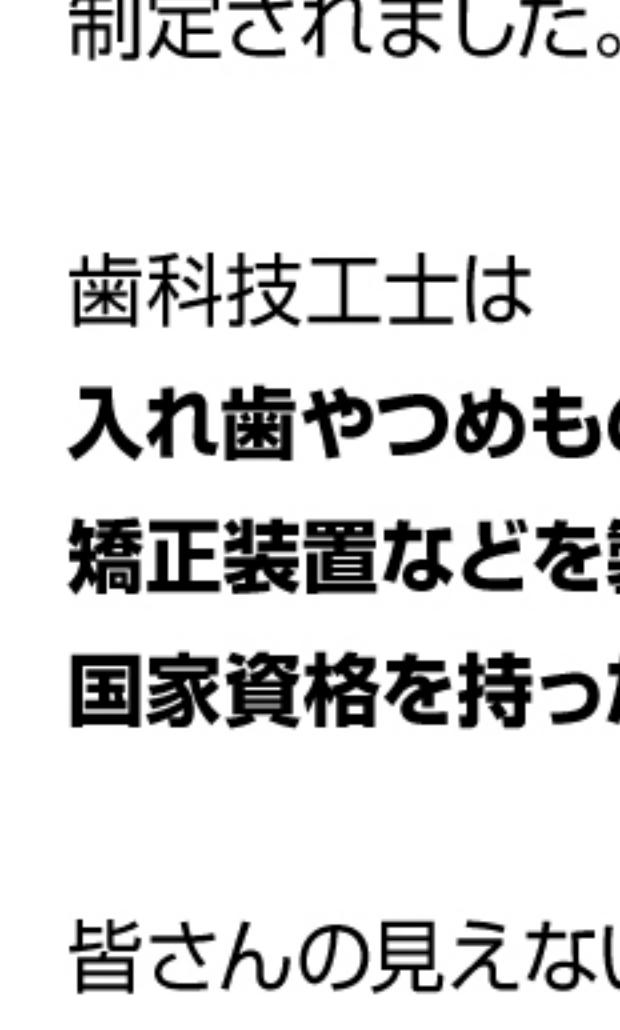




大人の歯と子どもの歯は 何が違うの？



こんにちは。
9月24日は「歯科技工士記念日」です。
1955年9月24日に

「日本歯科技工士会」が誕生したことを記念し、
制定されました。

歯科技工士は
**入れ歯やつめもの、かぶせもの、
矯正装置などを製作する
国家資格を持った専門職です。**

皆さんの見えないところで
歯科医療を支えている
縁の下の力持ち的な存在です。

ところで大人の歯である「永久歯」と
子どもの歯である「乳歯」は
何が違うかご存じでしょうか？

🦷 乳歯の厚みは永久歯の半分？

乳歯と永久歯の違いは
歯の「質」と「厚み」。
乳歯は永久歯よりもやわらかいため、
比較的むし歯になりやすいといえます。

さらに、歯の表面を覆っている
エナメル質やその内側にある象牙質
と呼ばれる層が
乳歯は永久歯の半分程度の
厚みしかありません。

そのため、むし歯になってしまふと
すぐに神経に達してしまうので
注意が必要です。

🦷 どうやって永久歯は生えてくるの？

歯は「歯胚(しほい)」という
タネから形成されていきます。
なんと、永久歯の歯胚が作られるのは
生まれる前。胎生3ヶ月半ごろのことです。

やがて歯胚が成長し、
根までできた頃に
「そろそろ生えるぞ」

という信号を乳歯に出します。

すると、乳歯の根が溶けだし、
永久歯へと生え変わるのです。

しかし、乳歯の頃から
歯を大切にしておくと
生えてくる永久歯も丈夫になり、
大人になってもケアをする習慣が
身につきます。

乳歯も永久歯も大切な歯であることに
変わりはありませんので、
**お子さまのためにも
幼い頃からセルフケアを
徹底していきましょう。**

SEE YOU

NEXT TIME